

公益財団法人東京しごと財団委託事業 東京都補助事業

# 東京ジョブコーチ



## CONTENTS

Customers  
Voice

株式会社叙々苑 フードファクトリー

大田区立障がい者総合サポートセンター  
(大田区障がい者就労支援センター)

お知らせ

こんな時、ご利用ください！東京ジョブコーチ！

2018.9  
第13号

東京ジョブコーチ職場定着支援事業広報紙 (年2回発行)

漬物製造課 課長 澤 清治 様



漬物製造課  
課長 澤 清治 様  
1996 (平成 8) 年入社。

株式会社叙々苑  
フードファクトリー

良質吟味、おいさが最良のサービスを  
モットーに都内を中心に全国展開する  
焼肉レストラン  
【創業】1976 (昭和 51) 年 4 月  
【資本金】1,000 万円  
【事業】焼肉レストランの経営 58 店舗、  
焼肉弁当・焼肉のたれ・サラダのたれの  
製造販売  
【所在地】本社：港区六本木  
フードファクトリー：足立区堀之内  
【URL】  
<https://www.jojoen.co.jp/>

仕事ができる・できないよりも、この会社を好きになっ  
てくれる方、行きたいという気持ち  
を大切にしています

御社で働く障がいのあるスタッフについて  
教えてください。

澤 (以下、S)：叙々苑フードファクトリーは、直営店舗のセントラルキッチンであり、食肉加工、漬物製造、タレ製造などを行っています。また駅弁をはじめプロ野球のスタジアム弁当などのお弁当製造も行っています。フードファクトリーには約一四〇名の従業員が在籍し、内十名の知的障がいのある方も一緒に勤務しております。私の所属する漬物製造課には八名勤務しています。週五日、日に五時間、野菜の洗浄や加工、漬物製造の補助などの仕事を意欲的に行っています。

障がいのある方の雇用のきっかけを教えてください。

S：最初のきっかけは、二三年前の王子特  
別支援学校との出会いです。当時、就労支

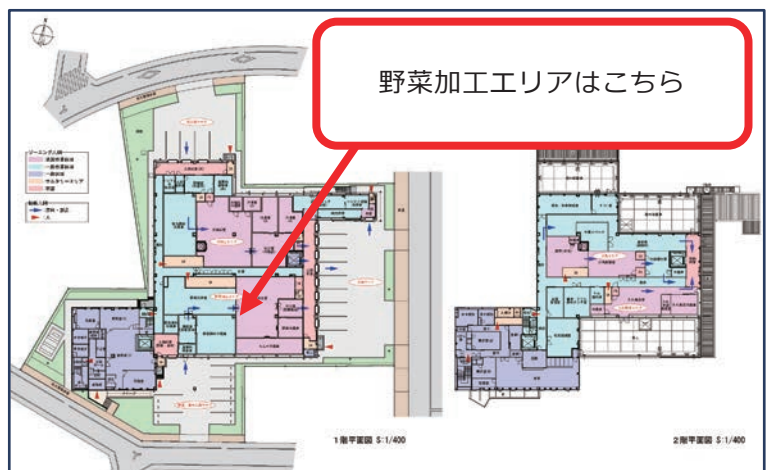
援センターがなかった時代でしたので、先生と綿密に打ち合わせをして、頻繁に訪問してもらったことを憶えています。その時に入社した A さんは、今も働いてくれています。

採用する上で大切にしていることはありますか。

S：仕事ができる、できないという事よりも、この仕事が好きか、この会社が好きかを大切にしています。そして毎日楽しい気持ちで仕事に行きたいと思ってくれることを大事に指導しています。

雇用を進めるにあたって社内の理解はどのように得られたのでしょうか。

S：雇用する前、社員に対しては、障がいのある方との関わり方についてしっかりと伝えるようにしています。実際に関わる



フードファクトリー  
1 階 2 階を合わせた延べ面積は 3000 ㎡

場面になると、最初は戸惑うと思います。障がいのある方の中には突然、社員の腕をつかむ方もいらっしゃいます。結構力が強いのですよ。最初の何日か何週間か個人差はありますが、やはりそこは慣れたと思います。障がいの特性について講義を受けて頭では理解できたとしてもこれだけの人数がいますと、一人ひとり全く特性が違うので、実際には十人いたら十通りの接し方になります。長い年月をかけて、それぞれに合わせた関わり方を模索しながら進めてきました。先ほどの A さんはこの二三年間ずっと漬物用の大根を剥いています。そのような単純反復作業がとても多いのです。A さんは「この仕事は自分の仕事」「これをやりに来るんだ」という気持ちを強く持ち、二三年間通ってくれているんだと思います。

## 会社に来たいと思ってもらえる職場環境を作るために

### 常々みんな考えています

この工場には重度の方でも出来る仕事がたくさんあるんだと思います。

適材適所、まさに強みを活かした雇用ですね。

東京ジョブコーチ（以下、TJC）もユニケーションの取り方等、環境を整える支援でずいぶん関わらせていただきました。

S・・今までは新卒の入社時の導入部分でTJCの支援をお願いしてはいたので、もう七、八年働いていただいているBさん・Cさんの支援をお願いしました。気持ちの面や人間関係での不安が課題として生じた方に対して、TJCの支援を依頼し、どのように関わったら良いかをご相談をさせていただきました。

また漬物課で働いている特別支援学校卒のDさんは一つひとつの仕事に対して確認をしながら自分である程度行うことが出来る方ですが、対応の仕方やどういふ風な指導方法がよいかを含め教えていただきました。その後も就労継続できているので、TJCの支援は役に立って良かったと思います。

TJCをご利用いただいていた点、逆にこうしてほしかった点をお聞かせ下さい。S・・我々も長く障がい者雇用を行っているもの、こういう場合はどういふ風に指導したらいいのか、全てが分かるわけではありません。TJC達は他の企業もいろいろと見ていらして沢山の引出しを持って

るので、質問だけでなくアドバイスなどいただいています。逆に、考えていたことには利用回数が決まってしまうこと。軽度の方であれば短期間で支援をいたしながら構築していくことができますが、逆に重度の方は短期間の間に解決することは難しい。二十回という区切りがあるので、もうちょっと何とかしたいのだけども、しょうがないかなというのも出てきてしまう。その分、支援センターにもフォローいただけるとありがたいと感じています。

当事業開始から十年、皆さんからのお声をいただいて今後も役立てていただけたら嬉しいです。

御社では今後も雇用を継続されていく計画でしょうか。

S・・会社全体としては雇用率をクリアしていますが、今後も雇用は続けていこうと思います。ただ一名採用すると、指導者も一名必要になります。採用した方がひとり出来るように育つまでに時間がかかるので、毎年の採用は難しいですね。おおよそ二年〜三年に一名程度のスパンでの採用を考えています。

（スクリーンに清掃するスタッフ達の姿が映る）先ほどから作業後の清掃が始まったようですね。退勤のお時間でしょうか。

S・・そろそろ帰る頃ですね。実は通勤途中でも色々課題がある方もいらっしゃいます。公共交通機関の中で大声を出したり、怒鳴ってしまったりとか。

TJCでは、通勤支援も対応可能です。

S・・通勤に関しても支援を受けられるのですか。私たちが付き添ってまで見守ることはできませんし、今までは支援センターの方に頼んだりしていました。

必要な場合には、是非お声掛け下さい。

最後に障がいのある社員に対する想いをお聞かせいただけますか。

S・・毎日一緒に仕事をしながら、皆さんの仕事の重要性を考え、楽しく仕事が出来たらと思います。一人ひとりが皆さんのご家族を含め、やりがいや、仕事に対する誇りをもって取り組んで欲しいと思います。そして、その他の従業員は、自分たちがどれだけ皆に助けられているかを考え、皆が会社に来たいと思う職場環境作りをこれからはお願いしたいです。採用だけではないですが定着を含め、従業員一丸となり、頑張っていきたいと思っています。



エントランスにて

主任支援員 山田 達也 様



主任支援員 山田 達也 様  
2004（平成 16）年法人入職。  
2015（平成 27）年より現職。

区の主導の下、関係支援者全員で  
協力・連携できるネットワークが強みです

大田区立障がい者総合サポートセンター  
（通称：さぽーとぴあ）の事業内容を教えて  
下さい。

山田様（以下、山）：さぽーとぴあは障がいのある方の生活を総合的にサポートする拠点として、二〇一五年三月に開設しました。大きく分けて四つの部門（右欄参照）が入っています。障がいのある方もない方も共に支えあう出会いとつながりが実現できるように、進化する施設を目指しています。

「就労支援部門」の業務について教えてください。

山：当「就労支援部門」では、就労支援センター（以下、センター）の業務を区の職員と役割分担して行っています。間接支援、利用者の方に直接関わらない業務を区の職員が行い、直接支援（就労相談、就労移行

大田区立障がい者総合サポートセンター（通称：さぽーとぴあ）

【事業】相談支援部門（1階）▶障害者相談支援事業、特定相談支援事業、一般相談支援事業、基幹相談支援事業、障害者虐待防止センター、意思疎通支援事業

居住支援部門（2階）▶自立訓練（機能訓練）・自立訓練（生活訓練）

地域交流支援部門（3階）▶余暇活動支援、理解啓発活動、1階カフェの運営等

就労支援部門（4階）▶就労移行支援事業、区市町村就労支援事業

【所在地】東京都大田区

【設立】2015（平成 27）年 3 月

支援事業、定着支援事業）の業務を育成会が行っています。センターは区職員四名、育成会一二名の合計一六名の職員が在籍しています。区と育成会の職員が同じ事務所勤務している点特徴的で、朝礼を合同で行ったり、区事業に育成会職員が参加したり、区主催のネットワーク（以下、NW）事業で使う資料の印刷作業を就労移行支援事業所で受注したり、日常的な協力・連携の体制もとっています。

利用者の状況を教えてください。

山：二〇一八年四月末時点で、定着支援登録の方が五四八名いらっしゃいます。

広瀬様（以下、広）：以前は知的の方が多かったですが、少しずつ精神や発達障がいのある方の登録が増えています。毎月平均約一五名いらっしゃる新規相談の方の中でも、



広瀬 様

乗っています。「すぐに仕事に就きたい」という希望をもって来所される方でも、面談の中でご本人の就労準備性を判断した上で、就労移行支援事業所の利用についてご提案させていただく場合もあります。求職活動では、合同面接会やハローワークにも同行し、ご本人の安定的な就労につながるよう支援しています。雇用が初めての企業に対しては、東京ジョブコーチ（以下、TJC）の利用をお勧めすることもあります。このように、適切な関係支援機関につなぐためのコーディネート業務も行っています。

精神・発達の方の割合が増えていきます。また、病院やワーカールの紹介により、高次脳機能障がい（以下、高次脳）のある方の相談も増加傾向にあります。

広瀬さんの日々の業務を教えてください。

利用者との関係性を築く上で大切にしていることは何ですか。

広…どんな仕事に就きたいか、仕事に対するイメージをどのように抱いているのか、ご本人の希望や気持ちを丁寧に聴き取るようにしています。職歴のある方に関しては、以前経験した仕事の中で今後の就労に活かせるスキルがあるかどうかもお話をうかがいながら確認しています。

**NWの主な事業について教えてください。**

山…主な事業の一つが就労促進担当者会議（以下、就担会）で区が中心となり運営しています。就担会は、福祉作業所の集まりが発端のため、就労継続B型をはじめとした事業所職員が多いです。その他に障害者職業センター、学校、ハローワーク、都広域支援機関、グループホーム、通勤寮等の方々が参加し、それぞれが抱える定着支援の難しさについて情報交換を行ったり勉強会を開いています。他にも、就労移行支援事業所の集まりや高次脳の支援関係者で集まる「機能訓練連絡会」（以下、連絡会）も区の主催で行っています。

広…高次脳の方の場合は、病院のワーカーの勧めにより機能訓練を経た後に就労を目指すという場合もあるので連絡会を通して関係者と密な情報共有を行うことが、日々のタイムリーな連携に役立っていると思います。他にも、相談支援や居宅介護の区内連絡会も定期的に開催されています。

山…実務者メンバーの集まりなので連携を取りやすいです。また、就担会には、就労者激励会（勤続者表彰式）や企業見学会等、

東京ジョブコーチには、多様で個別性の高いニーズにも

柔軟に対応していただき、支援の質を高めてもらっています

様々な事業があります。メンバーを小グループに分け、協力し合いながら事業を行っているので、関係をつくりやすく、お互いに相談しやすいというメリットがあります。区の主導の下、関係支援者全員で協力・連携する体制が確立されているのかもしれないですね。



齋藤 様

**TJCとの連携はいかがでしたでしょうか。**

齋藤様…以前、服飾雑貨や衣料品を販売する店舗で働く知的障がいのあるEさんの初期定着のためTJCを利用し、職場の雰囲気や理解のあるTJCをコーディネートして頂きました。TJCより、Eさんの障がい特性や対応上の配慮点をスタッフの方に丁寧に説明していただいたことで皆さんから信頼と安心感を得られるようになりました。また、絵を描くことが得意なEさんのスキルを活かした販促用ポップ作りの業務



さぽーとぴあ前にて

を提案してくれたのもTJCでした。Eさんの業務マニュアルも作っていただいたので、TJCの支援終了後も活用させていただきます。ただ、できて助かっています。

広…視覚障がいのある方への支援では、雇用経験がない企業に対してTJCから具体的なアドバイスを行っていただきました。ご本人のQOLを高めるという点でも、点字図書館等の社会資源も含め良い情報をたくさん提供していただき、私自身もすぐく勉強になりました。若年性認知症の方への支援では、当初企業も私たちも初めての特性への対応に戸惑いましたが、本人の思考や行動の傾向、業務上の課題等をTJCに客観的に整理していただきました。多様で個別性の高いニーズにも柔軟に対応していただき、支援の質を高めるといって点では、TJCの力は大きな助けになっています。

## こんな時、ご利用ください！東京ジョブコーチ！

### 『初めて障害者を採用する時 初めて雇用される時 実習の時』

(会社から)

- 仕事の説明をする時にどんな点に気を付けたいかわかりません。障害者も、一緒に働く社員も、慣れるまでの間、東京ジョブコーチに来てもらいたい。

(ご本人様から)

- 会社の方と良好な関係がつかれるように、コミュニケーションの取り方についてアドバイスしてもらいたい。

(支援機関から)

- 障害者も会社の方も安心して働けるようにするには、就職初期には綿密な支援が必要ですが、対応できない時があります。東京ジョブコーチの力を借りて確実な支援を行いたい。

### 『働き始めてから』

(会社から)

- 障害者の社員が増えてきました。やりがいをもって長く働き続けてもらえるよう研修プログラムを検討したい。研修テーマの選び方や内容、研修の進め方についてアドバイスしてもらいたい。
- 新しい仕事を任せたい。慣れるまでの間、分かりやすい説明方法や仕事の進め方についてアドバイスしてもらいたい。

表紙の絵：「葛飾北斎富嶽三十六景」より神奈川冲浪浦模写  
作 者：つねきち

作者について：つねきち は平成2年生まれの男性で、知的障がい（中度）の認定を受けています。

3年前に就職した「有限会社アトリエ渋谷」がデザイン関係の企業であったこともあり、こだわりの特性を生かした模写をやってみたいかどうか、とすすめられて描き始めました。

現在は日中はPC入力の仕事をし、夜や休日に集中して描き、外出時にも画材を持ち歩いています。

原画とはまた違った雰囲気になりますが、優しい雰囲気が周囲には好評を頂いています。

模写絵師としての作品を載せたHPの方もぜひご覧ください。

模写絵師つねきち 八卦鏡 (QRコードでもご覧いただけます→)  
<https://mikahikarimono.amebaownd.com>

アトリエ渋谷 ホームページ  
<http://atreshibutani.jp.net/>

表紙作品の解説：横浜の荒れ狂う海の波間から見える富士山を描いた、世界的にも有名な浮世絵を水彩絵の具で描きました。

絵の輪郭線も全て細筆を使い、温かみと鮮やかな色調を加え、模写でありながら独特な味のある作品に仕上げています。



つねきちさん

## Contact us

### ▶ 事業のご利用（支援依頼等）に関すること

東京ジョブコーチ支援室

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-8-10 オークラヤビル2階

TEL(03)5386-7057 FAX(03)5386-2227

Eメール [tokyo-jc@ikuseikai-tky.or.jp](mailto:tokyo-jc@ikuseikai-tky.or.jp)

ホームページ <http://www.ikuseikai-tky.or.jp/~iku-tokyo-jc/>

### ▶ 事業全般、東京ジョブコーチに関すること

公益財団法人 東京しごと財団

障害者就業支援課 コーディネート事業係

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター8階

TEL(03)5211-2682 FAX(03)5211-5463

ホームページ <http://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>